

〈郵便番号〉
 〈住所〉
 〈事務所名〉
 〈代表者名〉 様
 〈御担当〉 様

【JIA建築家賠償責任保険取扱代理店】
株式会社 建築家会館

【引受保険会社】
 **損害保険ジャパン株式会社**

JIA建築家賠償責任保険オプションプランのご紹介

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
 今回「JIA建築家賠償責任保険(建築家特約条項セット賠償責任保険)」のオプションプランをご案内申し上げます。
 この機会にオプションプランへのご加入をご検討くださいますようお願い申し上げます。 敬具

NEW
 2022年
 4月改定

建築基準法20条に規定する1,2,3号建築物に加えて2021年4月に追加した
 4号建築物の基準を緩和しています。
 ※都市計画区域外で建築確認申請不要な場合でも、住宅瑕疵担保履行法を充足する4号建築物を補償

おすすめ① 「構造基準未達」オプションプラン (構造基準に関する追加条項)

構造設計等の業務ミスで、建築基準法20条第1項に規定する号建築物について、建築基準法20条に規定する「構造基準」を満たさないために、法律上賠償しなければならない損害を補償します。

どんなとき? 構造計算ミスにより、鉄筋の本数が本来10本必要であったところを、4本しか設定せず不足した(建築基準法20条の基準値を満たしていない)ため、補強工事を実施した。(ただし、不足していた鉄筋の費用(6本分)については、当初から正しい設計をした場合に必要な費用で、法律上設計事務所が負担すべき賠償にはなりません。)

CHECK 「構造基準未達」オプションプランの対象事故は、過去のお支払事例で **2,000万円超** の保険金をお支払いしている事例もございます。

NEW
 2022年
 4月改定

建築基準法20条に規定する1,2,3号建築物に加えて2021年4月に追加した
 4号建築物の基準を緩和しています。
 ※都市計画区域外で建築確認申請不要な場合でも、住宅瑕疵担保履行法を充足する4号建築物を補償

おすすめ② 「建築基準法等未達」オプションプラン (建築基準関係法令に関する追加条項)

設計等の業務ミスで、建築基準法および所定の建築基準関係法令に定める基準を満たさないために、法律上賠償しなければならない損害を補償します。

どんなとき? ■駐車場の設計において、設計ミスにより駐車場法に規定されている高さの制限に抵触したため、改修工が必要となった。(駐車場法に違反)
 ■非常用照明を設置すべき場所に、一般照明を設置してしまった。(建築基準法に違反)

CHECK 「建築基準法等未達」オプションプランの対象事故も比較的少ないものの、一事故あたりの賠償金額は **構造関係の事故と同様に高額** なものとなっております。
 過去のお支払事例では、**約3,000万円** の保険金をお支払いしている事例もございます。

おすすめ③ 「工事監理」オプションプラン (工事監理担保追加条項)

工事監理の業務ミスでその建物に物理的「滅失もしくは損傷」事故が発生し、建物や他人に損害を与えたとして、訴訟を提起されたときの応訴費用、訴訟の結果、法律上賠償しなければならない場合の損害、訴訟費用を補償します。

どんなとき? ■工事監理者として配筋検査を行ったが、設計図書と異なる配筋がなされていることを見落とした。その後、梁にクラックが発生(損傷あり)し、訴訟を受け判決で賠償責任が確定した。
 ■施工不良によりタイルが落下し、施工者と工事監理者が訴えられる裁判となった場合の訴訟費用。

CHECK 2015年度に導入されてからご好評につき、ご加入者の **約5割** の方が申し込まれています。

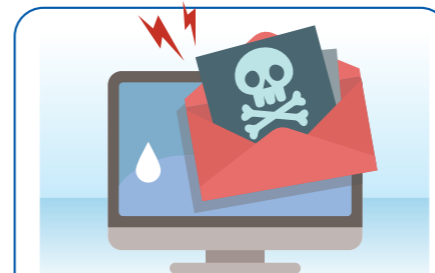
おすすめ④

「サイバーリスク補償」オプションプラン

業務過誤賠償責任保険普通保険約款・サイバー保険特約条項

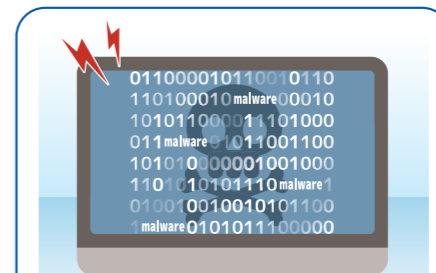
業務遂行中に全世界で発生する、サイバー攻撃や情報漏えい、ネットワークの所有・使用・管理に起因して発生するセキュリティ事故等によって生じる第三者への賠償責任や賠償責任が発生するおそれがある場合の事故対応に要する諸費用(原因調査費用、再発防止費用、データ復旧費用など)を包括的に補償します。
 また、保険によるリスクヘッジのほか、緊急時サポート総合サービスをご提供します。

サイバー攻撃は、現在様々な種類があります。主なサイバー攻撃の種類は以下の通りです。



標的型メール攻撃

メールやweb等により、特定の企業のPCをウイルスに感染させ、機密情報の窃取やシステム・設備の破壊・停止を行う攻撃。標的型攻撃は長期間継続して行われることが多いという特徴がある。



マルウェア

不正かつ有害に動作させる意図で作られた悪質なソフトウェアやコードの総称。



DDos攻撃

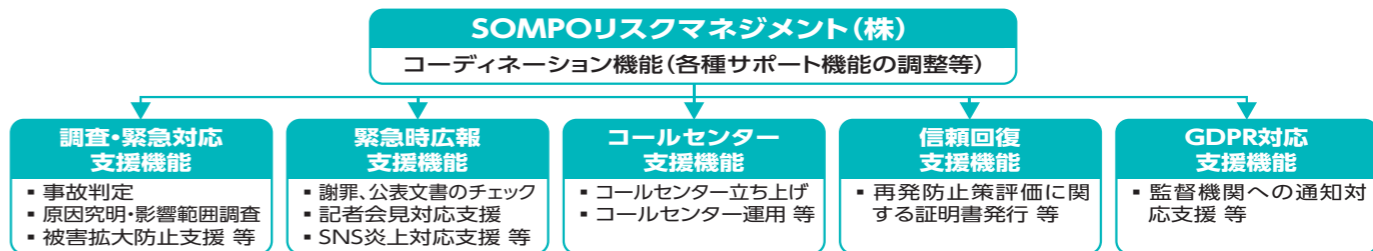
相手方の通信機器等に大量のデータを送りつけてシステムを正常に稼働できない状態に追い込む攻撃手法。

お知らせ

- ・2022年春より、サイバー攻撃で個人情報漏えいした企業に対し、被害が発生した全員への通知が義務付けられます。通知義務違反には最高で1億円の罰金を科され、悪質な場合は社名も公表されてしまいます。
- ・対応を誤れば訴訟リスクも高まるため、今後はより厳密な対応が必要となります。
- ・通知には詳細な調査が必要とされるため、加害企業はフォレンジック調査等を実施する必要があるため、多額の費用が必要となります。フォレンジック費用については端末1台当たり百万円単位と高額となる事例が多いです。

緊急時サポート総合サービス(無料・自動セット)

万が一の際、ご用命により、損保ジャパンのグループ会社であるSOMPORリスクマネジメント(株)が必要な各種サポート機能を調整し、ご提供します。また、これらの機能にかかる費用は、サイバーリスク補償オプションを通じて充当することが可能です。



補償内容

賠償 (第三者への賠償責任)	サイバー攻撃、情報漏えい、システム管理等に起因して他人に経済的損害を与えた場合の賠償責任・争訟費用の補償
	損害賠償金 争訟費用 など
費用 (事故対応に要する貴社の費用)	サイバー攻撃、情報漏えい等の発生(第三者への賠償責任が生じるおそれがある場合)に起因して生じる「事故調査」から「解決/再発防止」までの諸費用の補償
	原因調査費用 再発防止費用 データ復旧費用 弁護士・コンサルタント相談費用 など

Point! 外部からのサイバー攻撃によって生じた事故だけでなく、貴社の従業員のオペレーションミス等の過失によって生じた事故も補償します!

気になる保険料は裏面でチェック!

サイバーリスク補償プラン 加入タイプ

ご加入タイプ	保険金額(保険金支払いの限度額)		お支払いする保険金
	賠償 (1事故・1年間につき)	費用 (1事故・1年間につき)	
CY1型	5,000万円	500万円	賠償：賠償額 - 自己負担額(0円) 費用：費用の合計額 - 自己負担額(0円) (ただしタイプによる保険金額が限度)
CY2型	10,000万円	1,000万円	
CY3型	30,000万円	3,000万円	

サイバーリスク補償プラン保険料表 (参考)

※2022年10月1日付で中途付帯された場合の追加保険料となります。

※「売上高」とは貴社の1年間の総売上高を指します。

※下記は、保険料の例示となります。実際に適用される保険料は総売上高の規模により異なります。貴社に適用される保険料は、JIA建築家賠償責任保険(ケンバイ)加入WEBページ(<https://kenbai.jp/>)にてご確認ください。

売上高	CY1	CY2	CY3
5,000万円未満	5,000	7,500	10,000
5,000万円以上 6,000万円未満	6,025	8,790	12,445
6,000万円以上 7,000万円未満	7,030	10,255	14,520
7,000万円以上 8,000万円未満	8,035	11,720	16,595
8,000万円以上 9,000万円未満	9,040	13,190	18,670
9,000万円以上 1億円未満	10,045	14,655	20,745
1億円以上 2億円未満	15,065	21,980	31,115
2億円以上 3億円未満	22,095	32,235	45,640
3億円以上 4億円未満	26,110	38,100	53,935
4億円以上 5億円未満	30,130	43,960	62,235
5億円以上 6億円未満	33,040	48,210	68,250
6億円以上 7億円未満	34,850	50,845	71,985
7億円以上 8億円未満	36,655	53,485	75,720
8億円以上 9億円未満	38,465	56,120	79,450
9億円以上 10億円未満	40,275	58,760	83,185
10億円以上 20億円未満	47,200	68,870	97,500
20億円以上 30億円未満	59,255	86,450	122,395
30億円以上 40億円未満	68,795	100,375	142,100
40億円以上 50億円未満	75,825	110,630	156,620

売上高が50億円以上の場合は、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

追加保険料※のご案内

(2022年8月1日時点の契約内容をもとに作成)

※2022年4月1日時点での「設計料および監理料」に基づき、10月1日付で中途付帯された場合の追加保険料となります。

追加保険料=年間保険料×6か月/12か月

オプションプラン① 「構造基準未達」 ※P型(5,000万円) 自己負担額100万円の場合	事務所形態が「構造設計専業」の場合	
	事務所形態が「総合設計事務所」の場合	
オプションプラン② 「建築基準法等未達」		
オプションプラン③ 「工事監理」		
オプションプラン④ 「サイバーリスク補償」		

インターネットで簡単に中途加入(オプション追加)の手続きができます!!
保険料の試算(自動計算)も可能です!!

<https://kenbai.jp/>

◆手続きの流れ

①ログイン ②変更依頼 ③変更内容入力 ④変更登録完了 ⑤保険料振込



必ず「ケンバイ」パンフレットPDFを印刷してご確認ください。



「申込内容変更」をクリックします。



変更内容を入力し、「送信」をクリックします。



①変更内容の確認をし(加入確認(必須))にチェックをします。
②「送信」をクリックします。

保険料
振込

「追加保険料」のお振込をいただいて変更登録が完了となります。
(変更月の前月25日までにお振込ください。)

「ID(加入者番号)」と「パスワード」を半角英数で入力し、「ログイン」をクリックします。

※パスワードをお忘れの場合は代理店(株)建築家会館にご連絡ください。

このチラシは概要を説明したものです。詳しい内容については、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

〈取扱代理店〉株式会社建築家会館

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-16
TEL. 03-3401-6281 FAX. 03-3401-8010
MAIL : kenchikuka_kaikan@nifty.com
(受付時間：平日午前9時から午後5時まで)

〈引受保険会社〉



損害保険ジャパン株式会社

団体・公務開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03-3349-5402 / FAX 03-6388-0161
(受付時間：平日午前9時から午後5時まで)